

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学麻酔科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 3月

福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 井上聡己

研究課題名

献体遺体を用いた腹横筋膜面ブロックに関する研究

研究期間

2024年3月 ~ 2027年3月

研究の目的・意義

腹横筋膜面ブロックとは、腹壁の筋肉（腹横筋、内腹斜筋）の間に存在する腹横筋膜面という部位を走行する神経を麻酔して腹壁の痛みを和らげる手法で、主に開腹手術時の術後鎮痛を目的として行われています。本研究では、従来の方法（腹横筋の近く）より浅い位置（内腹斜筋の近く）でも神経をブロックできるか調べることを目的としています。

従来の方法より浅い位置でブロックできることが明らかになれば、以前よりも安全に腹横筋膜面ブロックを施行することができるようになります。

研究対象となる方

福島県立医科大学の志らぎく会に献体をしてくださった方が対象となります。

研究の方法

ご献体の解剖により、腹横筋膜面の神経周囲の筋膜の構造を解明します。

次に、ご献体遺体の、腹横筋の近くに色素を投与した場合と、内腹斜筋の近くに色素を投与した場合の色素の広がりを比較します。

試料・情報の利用を開始する予定日

2024年4月1日

研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学麻酔科学講座であり、研究責任者は麻酔科学講座 井上聡己です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学麻酔科学講座で利用し解析を行います。

他の機関などへの試料・情報の提供について

該当なし

この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者の代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 担当：大石理江子

電話：024-547-1342 FAX：024-548-0828

e-mail：rieponko@fmu.ac.jp